

はれっし



JAグループ 耕そう、大地と地域のみらい。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JA岡山は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



9

2025 September
vol.301



JA岡山の新役員体制 新旧役員のごあいさつ

農を担う
米麦農家 原崎 奨太さん
興除地区………10ページ

今月の折り込み

2025年度 柑橘苗木注文申込書
2025年9月号カタログショッピングチラシ ほか

就任

おか のぶあき
代表理事理事長 岡 信明 【業務統括・監査】

【座右の銘】一期一会 【趣味】ゴルフ

この度、第25回（令和7年度）通常総代会終了後の経営管理委員会におきまして、引き続き代表理事理事長を拝命いたしました。身に余る重責ではございますが、微力ながら誠心誠意、職務に邁進する所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

先般開催されました岡山県JA大会におきましては、「組合員・地域とともに歩む!」をテーマに掲げ、「食料・農業への貢献」や「組合員の暮らし・地域社会への貢献」、さらに「活動と事業の好循環」を通じた組合員との関係強化や仲間づくり、持続可能な経営基盤の確立に取り組むことが決議されました。加えて、協同組合らしい人づくりにも積極的に取り組むことが確認されております。

JA岡山では、「農家組合員の所得増大と農業生産の確立・県民による地産地消」の推進と、「不断の自己改革によるさらなる進化」を通じて、「持続可能な農業・地域共生のみらいづくり」の実現を目指しております。のために、「當農振興計画」と「地域暮らし活性化計画」を策定し、役職員一丸となって取り組んでまいります。

私は一つひとつの出会いを大切にし、皆さまとのご縁を大事にしながら、日々の業務に取り組んでまいります。また、仲間との絆や、挑戦する気持ちも大切にしながら、組合の発展に尽力してまいります。

今後とも、組合員・利用者の皆さまのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

なんば のぶや
代表理事専務 難波 信也 【リスク管理・人事】

【座右の銘】人事を尽くして天命を待つ 【趣味】スポーツ観戦

JA岡山は、2025年7月をもちまして合併25周年を迎えました。これもひとえに組合員・利用者の皆さま、そして職員、諸先輩方のご支援とご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

当組合は合併以来、相互扶助の精神のもと地域社会を支えるため事業を展開してまいりました。変化の激しい経営環境において、その変化に柔軟かつ迅速に対応するとともに、「持続可能な地域農業の実現」、「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」に向け、皆さまの付加価値を創出していくことが求められていると考えております。

引き続き、役職員一人ひとりが個々の能力を発揮するとともに、チームワークを発揮できる職場環境を築き、皆さまから信頼されるJAを目指してまいります。「地域によろこびの種をまく」という経営理念に基づき、皆さまの未来が豊かなものであるように、わたしたちは種をまき続けます。

今後とも、一層のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

おおた せいいち
常務理事 太田 誠一 【企画総務】

【座右の銘】継続は力なり 【趣味】旅、バイク

この度の第25回通常総代会終了後に開催されました経営管理委員会および理事会におきまして、企画総務担当常務理事に再任され、引き続きその職責を担うこととなりました。改めて責任の重さを感じるとともに、皆さまのご期待に応えられますよう全力を尽くしてまいります。

地域にとってなくてはならないJAであり続けるため、ご承認いただきました中期計画に基づき、JAの総合力を発揮した事業展開や、効率的な施設運営によるコスト削減に努め、健全で持続可能な経営基盤の確立・強化に取り組んでまいります。

また、地域の活性化に向けて、「JAとのつながりの強化」や「JAファンづくり」を目的とした地域ふれあい活動にも、役職員一丸となって力を入れてまいります。

今後とも、皆さま方の変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

こにし たかし
常務理事 小西 孝志 【信用共済】

【座右の銘】一生懸命 【趣味】トレッキング

この度の第25回通常総代会終了後の経営管理委員会および理事会におきまして、信用共済担当常務理事に再任され就任いたしました。改めて責任の重大さに身が引き締まる思いでございます。

JA岡山では「地域によろこびの種をまく」を経営理念として、組合員・利用者の皆さまや地域から信頼され、必要な存在として認められる組合を目指し職務に邁進する所存でございます。

本年策定いたしました中期計画に則り、信用事業を通じ農業・地域が持続的に発展できるよう、また、共済事業を通じ組合員・利用者の皆さまの生命財産を守り豊かで安心して暮らせる地域社会の実現に向けて、役職員一丸となって取り組んでまいります。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

J A 岡山の新役員体制 新旧役員のごあいさつ

就任

みやけ まさゆき
経営管理委員会会長 三宅 雅之【座右の銘】初心忘るべからず! 努力を怠るな!
【趣味】園芸、野菜作り

この度、第25回（令和7年度）通常総代会終了後の経営管理委員会において、経営管理委員会会長に選任され就任いたしました。会長就任にあたり一言ごあいさつを申し上げます。

私は“3ちゃん農業”的時代に育ち、農業の現場はほとんどが手作業で、日々日没まで苦労の連続、今では想像もできない本当に厳しい生活を経験してまいりました。そのことから「なにか農業に役立つ仕事をしたい」と思い、全農岡山県本部に入会し、気がつけば50年が経ちました。

現在、農業は機械化が進み、その生産形態も大きく変わりましたが、土に触れ、作物を育てる喜びを感じることのできる農業は、私の原点であり、仕事を通じて学んだ「協同組合は組合員の組織」という思いは今も変わつてしまいません。

まずは、農業協同組合にしかできない大きな課題として、昨年の岡山県JA大会において将来ビジョンとして再提起された「持続可能で強く元気な岡山県農業の実現」「豊かで元気な地域社会の実現」「『食』と『農』を基軸とした地域に根ざした協同組合の役割発揮」の実現に向けて、誠心誠意取り組んでまいいる所存でございます。

一方で、組合員の皆さまがそれぞれの地域で元気で楽しく生活していくためには、これを応援する農業協同組合が明るく元気でなければなりません。

「組合員のために!」を合言葉に役職員一丸となって努力するとともに、職員一人ひとりが明るく元気に働く職場づくりを目指してまいります。

今後とも皆さまには、より一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

さいとう じゅんじ
経営管理委員会副会長 斎藤 準治【座右の銘】真実一路
【趣味】農業、車

この度、第25回（令和7年度）通常総代会終了後の経営管理委員会におきまして、経営管理委員会副会長を拝命いたしました。副会長就任にあたり一言ごあいさつを申し上げます。

私はこれまで、常に誠実に、真心をもって物事に取り組むことを大切にしてまいりました。組合員、職員が元気でいきいきと活動できる「元気なJA」を目指し、組合員の皆さまのお声を経営にしっかりと反映することが私の使命であると考えております。

職員時代には、組合員の皆さまと直接お話しし、笑顔になっていただけることに大きな喜びを感じてまいりました。そして築かれたつながりは、私にとってかけがえのない経験となっております。今後も対話を大切にし、皆さまの信頼に応えられる環境づくりに努めてまいります。

また、「組合員を大切に 職員を大切に」という思いを胸に、意見を自由に言い合える風通しの良い組織づくりを目指し、組合運営の透明性を高め、組合員の皆さまが納得できる意思決定を行うことを心がけてまいります。

今後とも、皆さまからのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

JJA岡山の新経営管理委員・新監事の紹介

6月27日に就任した経営管理委員31人・監事9人を紹介します。



経営管理委員					
伏見 正彦 第2選任区	長瀬 孝司 第1選任区	梶山 満 第1選任区	藤澤 輝久 第1選任区	経営管理委員会副会長 齋藤 準治 第8選任区	経営管理委員会会長 三宅 雅之 第4選任区
宮武 晴一郎 第5選任区	木村 吉成 第5選任区	野上 芳男 第4選任区	光森 正豪 第3選任区	小山 健生 第3選任区	片岡 靖登 第2選任区
奥田 康広 第8選任区	岡本 正志 第7選任区	斎藤 一治 第7選任区	三宅 良和 第6選任区	籠井 哲夫 第6選任区	余傳 幸治 第6選任区
石井 謙吾 第10選任区	福本 一成 第10選任区	藤岡 昭平 第9選任区	金居 正彦 第9選任区	小林 正明 第9選任区	小山 弘策 第9選任区
常勤監事 片岡 一明 第7~8選任区	代表監事 藤田 真樹 青壯年部組織代表	おおぞの 大園 齊幸 女性部組織代表	ふの 布野 浩子 女性部組織代表	かわい 河合 直美 女性部組織代表	ささい 笹井 光治 第10選任区
三垣 順一 地区適用除外(員外) 第10選任区	千田 康弘 第10選任区	河野 高幸 第9選任区	矢吹 勉 第6選任区	なかの 中野 昭文 第5選任区	ひとみ 人見 壱郎 第3~4選任区
白石 康彦 第1選任区					

就任

常務理事 山本 到 【営農経済】

【座右の銘】初心忘るべからず 【趣味】映画鑑賞

この度の第25回通常総代会終了後の経営管理委員会および理事会におきまして、営農経済担当常務理事に再任され、就任いたしました。再びこの重責を担うことになり、改めて身の引き締まる思いでございます。

農業を取り巻く環境は、農業者の高齢化と担い手不足、資材価格の高騰、気候変動、地域の活力低下といった様々な問題に直面しております。

こうした中で、今年度新たに策定しました「営農振興計画」と「地域くらし活性化計画」を柱として、地域農業の持続的な発展と豊かで暮らしやすい地域社会づくりに取り組んでまいります。中でも、農業者の所得増大を最重点課題と位置づけ、農産物の生産力・販売力の強化、生産コスト低減などに力を尽くしてまいります。

これからも地域に根ざし、皆さまに信頼され、真に必要とされる農協を目指して、役職員が一体となり努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

代表監事 藤田 真樹

【座右の銘】一期一会 【趣味】読書

第25回通常総代会終了後の監事会におきまして、引き続き代表監事に再任され就任いたしました。改めて責任の重大さに身の引き締まる思いでございます。

農業・農協を取り巻く環境はますます厳しくなり、さらに監事の役割も一層増しております。このような中、監事として果たすべき義務と責任を再認識し、法令遵守を基本として、公平かつ公正な立場を堅持し、微力ではありますが、誠心誠意頑張っていく所存であります。

どうか、皆さま方のご協力とご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げ就任のごあいさつとさせていただきます。

常勤監事 片岡 一明

【座右の銘】雨垂れ石を穿つ 【趣味】旅行

第25回通常総代会終了後の監事会におきまして、引き続き常勤監事に再任され就任いたしました。改めて責任の重さを痛感しており、一意専心の気持ちで職務に精励してまいる所存でございます。

さて、組合を巡る環境は大きく変化しております、農林中金の奨励措置の見直し、共済契約保有高の減少などで、信用・共済事業の収益は大きな影響を受けております。さらには総合的監督指針の改正により組合が総合事業として機能し続けられるように設けられたJA版早期警戒制度が強化されたことに伴い、収支シミュレーションの作成と目標利益設定に基づく信用・共済店舗のあり方の見直し、経済事業の収支改善など、経営基盤の確立・強化が強く求められています。

そのようななか、監事として常に公正普遍の態度を保持し、社会から信頼される良質なガバナンスの維持に取り組むとともに、内部統制システム基本方針に基づいた監査を実施し、組合の健全かつ堅実な運営に資することで組合員に貢献したいと思います。

今後とも、組合員の皆さまには、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

退任

経営管理委員会会長 宮武 博

残暑の候、皆さまにはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私こと、この度の通常総代会をもちまして、当組合の基準により定年を迎えることとなり、経営管理委員会会長を退任いたしました。在任中は各般にわたり、ご指導ご鞭撻を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

平成16年より非常勤理事を務め、平成28年6月には経営管理委員会会長の大役を仰せつかり、JA岡山の経営が円滑に進むよう力を尽くしてまいりました。

この間、組合員・利用者の皆さまをはじめ、役職員、関係機関など多くの方々からお支えをいただき、改めまして皆さま方のご厚情に心からお礼と感謝を申し上げます。

今後は新しい執行体制のもとで事業に取り組んでいただき、組合員・利用者の皆さまから信頼される組織として、役職員一丸となってさらなる発展を遂げられますようご祈念申し上げます。

最後になりましたが、組合員、地域の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、退任のあいさつとさせていただきます。

この度、長年にわたり経営管理委員会副会長として務めさせていただきましたが、第25回通常総代会をもちまして、退任の運びとなりました。在任中は、組合の健全な運営と発展のために尽力してまいりました。組合員・利用者の皆さまをはじめ、役職員や関係機関の皆さまから多くのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

今後は新体制のもと、役職員一丸となり、より信頼される組織づくりに取り組まれることを願っております。最後に、引き続き組合の発展と地域の繁栄をお祈り申し上げ、退任のあいさつとさせていただきます。

果樹（収穫・台風対策・摘果）

来年へむけて
貯蔵養分を
蓄えましょう



営農部指導課
小野 智寛

●礼肥の施用

今年は、高温乾燥と水分不足に加え、結実が良好だったので、樹体にかなりの負担がかかっていると思います。「お疲れ様でした」と感謝の気持ちを込めて、礼肥を施用しましょう。JAの果樹施肥例を参考に施肥した後、十分灌水

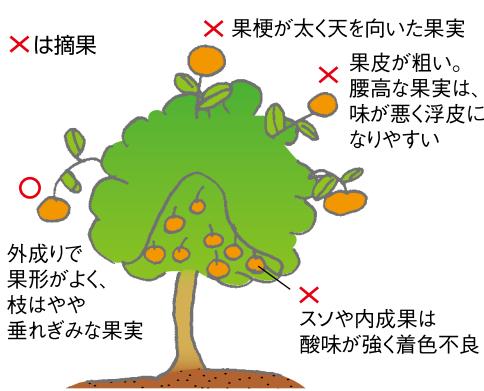
まだ暑い日が続くと思いしますので、夏バテしないよう体調管理には十分注意しながら作業を行ってください。（資料8）。

今年の夏期も全国的に気温が高い年でした。梅雨も過去に無いほど早く明けるといった珍しい年となりました。まだまだ暑い日が続くと思いますので、夏バテしないよう体調管理には十分注意しながら作業を行ってください。（資料8）。

資料8 今月の主な作業

品目	作業内容
ブドウ・モモ・梨・柿・リンゴ・イチジク	灌水、収穫、礼肥
梅・スモモ・ブルーベリー	灌水
ミカン	灌水、仕上げ摘果
キウイフルーツ	灌水、枝管理
ビワ	灌水、せん定（結果樹）

資料9 温州ミカンの荒摘果



資料10 有葉果



秋とはいって、まだまだ残暑が厳しい時期です。日中の気温が高い時間帯に収穫すると果実温度も高くなり、収穫後の日持ちが悪くなります。そのため、収穫は果実温度が低い早朝に行うようにしましょう。

・イチジクの管理（収穫作業）

今月はモモの収穫も終わり、ブドウや梨等の収穫時期が本格化します。一方で、台風による強風や秋雨前線により果実品質の低下、落果や落葉が起こり、今年の果実だけでなく、来年の初期生育にも影響することが懸念されます。

収穫が終わった後は、園地から足が遠のいて管理がおろそかになりがちですが、来年の安定結実のためにも栄養と水分の補給を行い、来年へむけての貯蔵養分を蓄えることが大切です。

して肥料の分解吸収を促進させることが重要です。晴天が続く場合は、5日おきに灌水を行いましょう。礼肥の施用方法につきましては、先用号に記述しましたので、そちらをご覧ください。

●収穫について

秋とはいって、まだまだ残暑が厳しい時期です。日中の気温が高い時間帯に収穫すると果実温度も高くなり、収穫後の日持ちが悪くなります。そのため、収穫は果実温度が低い早朝に行うようにしましょう。

●台風対策

台風の襲来が予想されるときは防風ネットの設置や点検、明渠の設置や清掃、棚の補強など事前に対策を行っておきましょう。収穫可能な果実があれば事前に収穫しておきましょう。

通過後は、安全を確保し、樹の状況確認や園地の見回りを行い、必要な対策を行いましょう。

表年（たくさん結実した年）の摘果は荒間引きを強くします。

裏年には、成枝は葉果比に関係なく多めに着果させます。

他のカンキツ類では、温州ミカンとは逆に大玉果を作るため、有葉果（資料10）、天成り果を残します。なお、カンキツ類では3年生までの若木は、木を大きくするためにすべての果実を摘果します。

・荒摘果

樹井ドーフィンでは、着色により収穫時期を判断します。果皮の着色程度が8月では、70%程度、9月では90%程度を目安とするとよいでしょう。

蓬莱種では、果実が下垂し、頂部裂果が大きくならないうちに収穫します。イチジクの果皮は柔らかいので、手で持ち上げるようにして収穫します。収穫時に樹液が手につくとかぶれることがありますので、薄手のゴム手袋で収穫します。

●カンキツ類の摘果

カンキツ類は柿と同じ様に隔年結果を起こしやすいので、生理的落果の終わった早生品種から予備摘果（荒間引き）として、傷果、変形果、小玉果を摘果します。次に品質が劣りがちな樹冠内部に着生した内成り果、浮皮果に取ります。

（資料9）。



作り方

- ①イチジクは食べやすい大きさにカットする。生ハムも食べやすい大きさにちぎっておく。
- ②フランスパンに横から切り込みを入れる。
- ③クリームチーズに白ごまと粗びきこしうを加えてよく練り、フランスパンの断面に塗る。
- ④ベビーリーフ、生ハム、イチジクを挟んだら完成！

JA岡山農産物レシピ

甘じょっぱさがくせになる イチジクの サンドイッチ

ポイント

今回はイチジクを皮ごと使用します。

皮を剥ぐ場合は

少しかためのものがおすすめです。

材料 (2人分)

イチジク	2個
フランスパン	12~15cmを2本
ベビーリーフ	適量(レタスでもOK)
生ハム	5~6枚
クリームチーズ	50g
白ごま	小さじ1/2
粗びきこしう	少々



創刊から続く、地域とともに歩む巻末コーナー



広報誌「ぱれっと」の歴代巻末コーナー

2000年の創刊以来、広報誌「ぱれっと」の巻末コーナーでは、岡山の名所やさまざまなレシピなどを紹介してきました。創刊号(2000年9月号)から2007年8月号までは「ふるさとスケッチ」と題し、岡山城など代表的な名所を手書き風の地図付きで紹介しました。2007年9月号から「地産地消de cooking!」へと変わり、地元の農作物や加工品、レシピを掲載し、2018年3月号まで続きました。翌月号からはレシピは残しつつ、管内のイベントや隠れた名所、情報、こぼれ話を伝える「あぐろグラム」が始まりました。このタイトルは「アグリ(農業)」と「ログ(記録)」そして「インスタグラム」の掛け合わせから名づけられました。さまざまな工夫が詰まったこの巻末コーナー、これからも地域の宝物を伝え続けていこうと思います。

広報担当 弘末 彩香

各種媒体で情報発信



オンラインショップ
はなやか
花野や
オンライン



Instagram



JAOKAYAMA_OFFICIAL



広報誌「ぱれっと」
意味

水彩画や油絵を描くときに絵具をまぜあわせて色をつくる板のこと。

特色ある地域の様々な情報をうまく調和させながら、地域と共に歩むという願いがこめられています。